



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきもの情報をありがとうございます。
 いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
 紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
 みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!
 みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

今年はどうな発見があったかな?



ルリタテハ (タテハチョウ科)



【3月27日】八雲

日本全域に生息していて、東南アジアなどの海外にも広く分布しています。平地の森林内やその周りに生息していますが、都市部の公園や緑地でも見られます。

モズ(モズ科)



【1月22日】駒沢オリンピック公園

動物食で、昆虫や小型の鳥類なども食べます。捕えた獲物を木の枝などに突き刺しておく習性があり、これを「モズのはやにえ」とよんでいます。

ヒキガエル (ヒキガエル科)



【3月29日】東が丘1丁目

体が比較的大きく、東京の都心部や住宅地でも見られます。

シロバナタンポポ(キク科)



【3月8日】目黒区民センター

白い花を咲かせる日本在来のタンポポです。もともと、西日本を中心に分布していましたが、近年は都内でも見られるようになりました。

アオジ (ホオジロ科)



【1月20日】大岡山2丁目

全長16cmほどでスズメよりも、少し大きい鳥です。開けた森林や林縁に生息していて、地上で植物の種子や昆虫などを探しています。

スギナ(トクサ科)



【3月5日】国立病院東京医療センター

私たちがよく見る「ツクシ」はスギナの孢子茎です。スギナは孢子で増えるシダ植物のなかまです。

ミミズのなかま



【1月12日】大橋2丁目

ミミズは1匹の体の中にオスとメスの両方の器官があります。これを雄雌同体といいます。カタツムリも同じです。

こんないきものの情報も募集しています!

オオキンケイギク

繁殖力が強く、ほかの植物の生育環境を奪う危険性があり、特定外来生物に指定されています。

○発見したら...

- ・目黒区都市整備部みどり土木政策課まで情報をお寄せください。
- ・ご自分の所有地の場合は駆除にもご協力ください。

○駆除する場合...

- ・根元から株ごと引き抜きます。多年草なので、根が残るとまた生えてきます。
- ・種や根を落とさないように袋を密閉して枯らせます。
- ・自治体のごみ処理方法にしたがって処理して下さい。



全体の様子



花の様子



除草作業の様子

野草の保全活動について

目黒区内では駒場野公園で野草の保全活動をしています。

【駒場野公園】野の花クラブ

駒場野公園で野の花クラブとして活動されている瀬戸さんにお話を聞きました!



野草園では、四季を肌で感じることができます。



野の花クラブ
瀬戸 由紀子さん

Q. 活動を始めたきっかけは？

ここは昔、東京教育大学の農場試験場でした。初代の植物の先生と目黒区と、野の花が好きな人とが集まり、ここに生えていた貴重な植物を残したいという思いから野草園を作りました。

Q. 活動内容は？

野草の維持管理を行っています。保全する種を明確にして、守り育てる活動をしています。

Q. 今後の活動は？

これからも野草園を残していきたいので、いろいろな人に知っていただき、活動に共感して参加する仲間たちが増えるといいなと思います。



野草園の様子



活動は毎月第1、第3日曜日の午前中に行っています。ご興味のある方は、どうぞお越しください。



目黒区でこんな植物を保護しました!



フデリンドウ(リンドウ科)

東京工業大学で工事を行う際に、敷地内にフデリンドウが生えているのが確認されました。現在、目黒区では貴重なフデリンドウを鉢植えに移して一時的に保護しています。

みなさんの身近な場所にも、貴重な植物が生えているかもしれません。



陽の光が当たると花が開き、陽がかげったり雨が降ったりすると花を閉じます。